

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔生物生産学部（生物生産学科）〕

| | |
|------------------|--|
| プログラムの名称 | (和文) 水圏統合科学副専攻プログラム |
| | (英文) Integrative Hydrospheric Science Program |
| 1. 概要 | 水圏統合科学主専攻プログラムは、5つのキーワード（海洋生態系、生物環境、水圏生物、水産資源、フィールドワーク）のもとに構成された教員によって実施され、履修する学生は、水圏生物の生理、病理、生化学、生態、行動、資源、環境についての基本的知識と研究手法、水産生物の増養殖の技術と、これらを取りまく諸問題についての基本的知識、及びこれらの分野の国際的な課題と進歩を見渡すことのできる広い視野を身につける。また、水産海洋に関する諸問題の解決策を、自ら調べ計画立案実行し、収集した資料を解析して取りまとめ、文書及び口頭で発表・討論できる力を養う。 |
| 2. 到達目標 | 水圏生物、水産業、水圏環境に関する知識を習得し、水産資源の管理と水産物の利用の方法について理解できる。 |
| 3. 登録時期 | プログラムの履修開始時期は3セメスターからです。また、プログラムの登録は、履修開始前（事前登録）とします。 |
| 4. 登録要件 | 本プログラムは、本学のすべての学生に開かれています。本プログラム選択のための既修得要件はありません。 |
| 5. 受入上限数 | 10名 |
| 6. 授業科目 | ※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。 |
| 7. 修了要件 | 指定する16単位を修得すること。 |
| 8. 責任体制 | 水圏統合科学副専攻プログラム担当教員会 |
| 9. 既修得単位等の認定単位数等 | (1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等 8単位 (2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等 8単位 |

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

水圏統合科学副専攻プログラム履修表

| 区分 | 授業科目 | 単位数 | 履修期 | 要修得単位数 |
|--------|-----------------------|-----|-----|--------------|
| 教養教育科目 | 生命・食・環境のサイエンス | 2 | 3 | このうちから2単位以上 |
| | 釣りの科学-魚と人間のインターラクション- | 2 | 3 | |
| 専門基礎科目 | 生物環境学 | 2 | 3 | このうちから2単位以上 |
| | フィールド科学演習 | 2 | 4 | |
| 専門科目 | 水圏増殖学 I | 2 | 4 | このうちから12単位以上 |
| | 水圏動物学 I | 2 | 4 | |
| | 水圏生態学 I | 2 | 4 | |
| | 水圏環境学 I | 2 | 4 | |
| | 水圏生産科学 I | 2 | 4 | |
| | 水圏生物多様性論 I | 2 | 4 | |
| | 水圏増殖学 II | 2 | 5 | |
| | 水圏動物学 II | 2 | 5 | |
| | 水圏生態学 II | 2 | 5 | |
| | 水圏環境学 II | 2 | 5 | |
| | 水圏生産科学 II | 2 | 5 | |
| | 水圏生物多様性論 II | 2 | 5 | |
| 合 計 | | | | 16 |